

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： R4 年 3月 16日

事業所名 Wood y 放課後等デイサービス②

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	2	0	活動内容や利用人数によってスペースの利用の仕方を変えています。	法令を遵守したスペースを確保し、利用定員としては適切であるが、行事等により児童の人数が多くなり、十分なスペースの確保が難しい事がある為集中する時間の活動人数を分けて行っています。
	2	職員の配置数は適切である	3	3	0	職員平均4人体制で対応しています。利用人数や活動内容により職員を増員するなど配慮しています。	適切な人員配置を行っていますが送迎等で人員が少なくなる時もある為より工夫していく必要があります。利用児童に対しより良い支援を行う為法令で必要とされる配置数に加え新規入職した職員(指導員又は保育士)の定着率を高め育成します。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	0	1階室内バリアフリーで車いすの移動も可能です。洗面所では職員が補助して車いすの児童が手を洗えるようにしています。	保護者様及び相談支援専門員や他事業所の意見を聞き環境整備していきます。車いすの児童も自由に行き来出来る環境を引き続き整えてまいります。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	2	4	0	支援や日頃の療育など振り返り、反省、次回への課題設定など改善に向けての話し合いは毎日行っています。	今後もPDCAサイクルを用いて、必要な支援や特性を共有していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	1	0	アンケートのご意見を集計し、会議等にて職員の周知と業務改善に繋げております。	今後もアンケート実施などにより御意見を取り入れ業務改善に努めてまいります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	3	0	ホームページに掲載しております。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	3	0	第三者による外部評価は実施していません。相談支援専門員や他事業所の方の意見を聞き業務改善に繋げていきます。	今後必要に応じて実施を検討してまいります。
	8	職員の資質の向上をおこなうために、研修の機会を確保している。	5	1	0	施設に講師を招いた職員研修やオンラインでの研修を行っています。また職員が外部の研修に参加した際には伝達講習を行い、他の職員にも情報共有を行うようにしています。	今後も研修、社内勉強会の機会を設け職員の資質の向上に努めてまいります。
適切 な支 援の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	0	0	契約時又は6ヶ月に1度、保護者様、相談支援専門員から本児の状況・課題・保護者様、本児のニーズを把握、アセスメントし個別支援計画に生かし作成しています。	今後も利用児童、保護者様のニーズを取り入れながら効果的な支援を提供できるよう心がけてまいります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	2	4	0	事業所で作成したアセスメントシートを活用しています。	今後は統合感覚など必要に応じてアセスメントツールを活用した評価も取り入れていきたいと思っております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	2	0	子ども達が楽しく色々な体験ができるように考え活動プログラムを作っています。	子どもそれぞれの支援計画をもとに会議を行い、活動プログラム立案を行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	1	0	季節の行事、誕生会、毎月計画する職員を変えたり等固定しないよう工夫しています。	資料やインターネットを用いて新しい遊びやプログラムを考えています。

	チェック項目	はい			工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標		
		はい	どちらともいえない	いいえ				
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	3	0	1日の計画を立て、細かい対応は個別に行っています。	長期休暇でしかできないイベントやプログラムを作成するようにしています。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	1	0	子どもの特性に応じた計画を考え、スモールステップで達成できる計画を作成しています。	子どもそれぞれの支援計画を作成し、それらに添った活動を行っています。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6	0	0	時間の都合上、開始前に打ち合わせ出来ない時もあるが、当日できないことがわかっている場合は事前に打ち合わせの時間を設けています。	毎日の朝礼にて、情報共有とスタッフ間で統一した支援が行えるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	1	0	翌日の朝礼で、前日の振り返りと情報共有を行っています。	毎日の朝礼にて、情報共有とスタッフ間で統一した支援が行えるようにしています。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	2	0	ケース記録に記載し、振り返り、検証、改善等につなげています。	今後もケース記録をもとに情報共有を行い、支援の検証・改善につなげるようにしていきます。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6	0	0	基本的に6か月に1度モニタリングを行っているが、必要時はその都度話し合いを設けています。	今後も左記の頻度でモニタリングを行い、計画の見直しをしていきます。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	5	0	ガイドラインの総則に添った支援ができるよう、スタッフ間で共有していきます。	今後はガイドラインの総則の研修等にてスタッフへの周知を徹底していきます。	
	関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	0	0	サービス担当者会議には、児童発達支援管理責任者が必ず参加しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
		21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	3	0	必要に応じて、学校及び関係機関との連携強化を行っています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。
22		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	1	0	医療的ケアの方法についてわからないことがあれば主治医への訪問も行っております。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
23		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	3	0	必要に応じて、情報共有を行っています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
24		学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	3	0	就労準備プログラムを提供しておりますので、得意分野や課題などを共有しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
25		児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	0	頂いた助言は子どもの支援計画・内容に反映させるようにしています。研修には積極的に受講しています。	今後もより連携を図り、充実した支援ができるように取り組んでいきます。	
26		放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	6	0	オープンイベント開催時等、障害のない子どもたちにも参加して頂き活動する機会を設けています。	コロナ終息後は、オープンイベント開催時や外出活動などにて交流の機会を増やしていきます。	
27		（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	6	0	コロナ渦のため、ZOOMでの参加を行っております。	今後も積極的に参加をしていきます。	

		チェック項目	はい	どちら ともい えない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え 合い、子どもの発達の状況や課題につ いて共通理解を持っている	6	0	0	送迎時に保護者様に直接お伝えするよ うに心がけています。	送迎時にお伝え出来ない場合は、連絡帳や電話な どで情報共有しています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点か ら、保護者に対してペアレント・トレ ーニング等の支援を行っている	2	4	0	保護者様から自宅での様子をお聞きし、 利用時の状況をお知らせしています。そ の中で、必要に応じて自宅でも可能な支 援内容をお伝えするようにしています。	今後も保護者様との情報共有をしながら、必要に 応じて自宅でも可能な支援をお伝えして行きま す。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	6	0	0	利用契約時に説明を行っております。	利用契約時に説明をしておりますが、不明な点な どあれば随時説明を行ってまいります。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する 相談に適切に応じ、必要な助言と支援 を行っている	6	0	0	その都度、子どもの状況に応じて保護者 様とお話しし、悩みや相談に適切に対応 するように心がけております。	今後も保護者様の悩み等に対して、相談員や学校 などと連携を図りながら支援してまいります。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者 会等を開催する等により、保護者同士 の連携を支援している	0	6	0	コロナ渦のため、現在は開催出来ていま せん。	新型コロナの終息後は、定期的に事業所の保護者 会等を開催し、情報の共有や保護者様同士の連携 を支援してまいります。
	33	子どもや保護者からの苦情について、 対応の体制を整備するとともに、子ど もや保護者に周知し、苦情があった場 合に迅速かつ適切に対応している	6	0	0	苦情等の施設への意見が言いやすくなる よう、日頃から保護者様への声掛けをし ています。	頂いた苦情や申し入れに対しては、迅速かつ適切 に対応するようにしてまいります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や 行事予定、連絡体制等の情報を子ども や保護者に対して発信している	2	4	0	お手紙やHPにて活動概要や行事予定をお 知らせしています。気になる点・連絡事 項等は、その都度保護者様に連絡するよ うにしています。	今後もお手紙やHPなどにてお知らせしていきま す。
	35	個人情報に十分注意している	6	0	0	・ 個人情報に記載された書類は鍵付き キャビネットに保管しています。 ・ 個人情報の取扱いについては十分注意 するとともに、取扱いに際しては、その 都度、目的や内容等について保護者様に 確認し了解を得たうえで関係機関と連携 させていただいております。	今後も左記の方法で個人情報の取り扱いに注意し てまいります。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思 の疎通や情報伝達のための配慮をして いる	6	0	0	送迎時での会話やお知らせのお便り、電 話などで臨機応変に対応しています。	子どもの特性などを把握したうえで配慮していき ます。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等 地域に開かれた事業運営を図っている	0	6	0	コロナ禍のため実施できていません。	コロナ終息後はオープンイベント等を開催し、地 域の子どもたちの参加する機会を設けていきま す。	
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニユ アル、感染症対応マニュアルを策定し、 職員や保護者に周知している	3	3	0	利用開始時に説明を行っておりますが、 追加した新しい内容など随時お知らせし ています	各マニュアルを策定し職員全員が周知していま す。保護者様にはお手紙で周知させていただいてお ります。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避 難、救出その他必要な訓練を行ってい る	5	1	0	毎月1回いろいろな災害を想定した避難 訓練を実施しています。	今後も継続して避難訓練を行っていき、逃げる練 習と一緒に非常食を食べるなどの避難生活に慣れ る練習もしてまいります。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会 を確保する等、適切な対応をしている	5	1	0	虐待防止に関する研修は児童発達支援管 理責任者が必ず受講し、職員間で共有し ています。	今後も研修を行い、職員間での共通理解としてい きます。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束 を行うかについて、組織的に決定し、 子どもや保護者に事前に十分に説明し 了解を得た上で、放課後等デイサービ ス計画に記載している	2	4	0	身体拘束は行っていませんが、活動につ いて子どもの安全確保のための行動制限 に関しては事前に子どもや保護者様に説 明し了承を得ています。	今後も身体拘束などの子どもの行動制限を行わず にできる支援をしていきますが、安全確保のため やむを得ず行動制限をする場合は、事前に子ども や保護者様に説明し了承を得るようにしていきま す。
	42	食物アレルギーのある子どもについ て、医師の指示書に基づく対応がされ ている	4	2	0	定期的に保護者様からの聞き取りによっ て職員全員が把握するようにしていま す。	子どもの命に係わる事なのでこれからも職員全員 で把握の徹底をしてまいります。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所 内で共有している	6	0	0	ヒヤリハット事例が起こった際には、ヒ ヤリハットの報告書を作成・保管し、職 員間で共有している。	一部、事例の書き漏れなどありましたので、ヒア リハット委員会を通して、報告書の作成と情報共 有を徹底してまいります。